事業所通信No.159

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel：03-3793-3012
Fax：03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：島田　宏

大阪～京都・9月5日～9月8日　研修報告

今月は、高橋さんからの報告です。

「誰もが地域で自分らしい暮らしを生活していく」事を理念に活動されている事業所見学へ

■9月5日(木)　社会福祉法人いばらき自立生活センターぽぽんがぽん（相談支援）

本格的に太田（相談支援事業所管理者）さんが関わり始めたのは1990年くらい20歳くらいの時から。当事者の方々を交えお出かけする場所を一諸に決めたり少しずつ本人主体の生活や地域生活の基盤が出来上がりつつある過程が見れました。

2000年頃からぽぽんがぽんが支えているＳさん（女性）が本格的に自立生活を始めたきっかけはお母さまの死で作業所にも来れなくなった事から。ぽぽんがぽんが運営する生活介護の場「ぽかぽか」でＳさんは食器洗いのベテランで作業も早いとスタッフ様よりお話を聞けました。

穏やかなＳさんでしたが自立生活を始めた当初はヘルパーとのやり取りでも嫌な事があれば過去にかみついたりしてヘルパーがやめたりなどあったようですが、支援者も自分の価値観がでてしまうと中々、当事者の主体性に目を向けられない事が多いと基本的な話も出ていました。

■9月6日(金)　自立生活センター夢宙　障害当事者が事業を展開している事業所

身体、精神に障害があるスタッフが当事者主体にぶれがないように大事にしている空気が伝わりました。
事業所の会議室は国際サミットが行われるようなアメリカ仕立ての部屋。
居宅、ガイド、日中の生活介護も全て受けているのが特徴です。

支援者が場面、場面の利用者さんの様子をすぐに共有でき、当事者の気持ちの汲み取りや、支援者に対してのアドバイスやサポートをに対するスピード感は、お話をお聞きして学ぶべきものがあると思いました。

■9月6日(金)　特定非営利法人「こどもの里」　子どもの里　館長　荘保共子さんのお話

日雇い労働者の街、大坂西成釜ヶ崎。ここに「子どもの里」がありました。

ここでは両親がいない、国籍を持たない、障害がある児童や、親が働いている時間の一時待機まで様々な事情の子供たちが集まり生活しています。二階が一時宿泊施設になっていました。子どもたちは夜回りしホームレスにおにぎりやお茶を配る日があるそうです。

身よりがない児童15歳から20歳に対しては自立援助ホームとして子供の里から2分くらいのところにある一軒家で、月3万で生活費、門限11時、働く事ｏｒ学校へ行くことを条件に暮らしの場を提供されております。

■9月8日(日)　京都・自立生活センター

自立生活をされている女性とご家族を交えてお話が出来ました。自立生活をされ８年が立ちますが、自立生活を始めた当初は泣いてばかりですぐに戻ってきてしまったＫさんですが、 今は、実家から15分程のマンションの一室がＫさんの自立生活の場。 今の生活が楽しいと私たちの顔を１人１人しっかり見ては終始笑顔のＫさん。
最後別れを惜しんで二回握手して下さいました。

「はちくりうす作品展」

～西郷山公園・グリーンカフェ～

１１月のひと月、代官山の旧山手通り沿いにある西郷山公園のグリーンカフェの壁面をお借りして、「はちくりうす作品展」を開催します。
秋の日差しの中、是非西郷山の秋の風情やグリーンカフェの美味しい食事とドリンクを味わいながら、「はちくりうす」の当事者やヘルパー、家族の皆さんの色々な作品をお楽しみください。
写真は福田さんのイラストと小原さんのお母さんの作品です。

「タピオカブームはすごいぞ」

わくわく
子どもまつり
at
鷹番小学校

直前まで、雨が降るのか降らないのか、悩ましい天気でしたが、ふたを開けてみるとなんともいい天気。暑いくらいの好天に恵まれました。1週間前の八雲住区のお祭りのときも雨の予報を覆していいお天気になったので、強力な晴女or晴男がいるようです。そんなわけで、これは売れるぞと、オープニングとともにお客さんを待ち構えていましたが、意に反してはじめはお客さんがまったく来ず、八雲住区での売れ行きに気を良くして、大量に用意したタピオカをいったいどうしようと、ちょっとブラックタピオカ色に暗くなってしまいました。しかし、侮りがたしタピオカブーム。30分くらい過ぎたあたりからお客さんが増え始め、スタッフも休む暇もないくらいになり、結局終了30分前に目標の250杯を売り切ることができたのでした。

一緒に行った無料のゲームコーナーも子供たちがたくさん来てくれ、用意したおもちゃや景品が終了前にほとんど無くなりました。はちくりうすのことをたくさんの方に知ってもらう良い機会になったと思います。

今回の「はちくりうすタピオカドリンク」は環境にも配慮してストローは紙製、カップは返却したら10円キャッシュバック、なるべくゴミを出さない様に取り組み、実際7割以上のカップを回収することができました。紙ストローはまだ改善の余地がありそうですが、これからも地球に優しい活動ができるかな、と考えています。来ていただいた皆さん、お手伝いいただいたみなさん、ありがとうございました。

参加出来ない場合は、ご連絡をお願いいたします。
今月は、職員が大阪研修でいくつかの事業所の視察から感じた事をお話していただきます。

１１月１５日（金）
鷹番住区センター第３・４会議室
１０時～１２時　大阪研修報告＆防災

１２月予定
救急救命講習／目黒消防署

全身性
ガイド講習を開催します。

- 11月16日（土）・17日（日）・24日（日）時間は日程により多少違います。
- 目黒区心身障害者センターあいアイ館
- 参加費８０００円（テキスト代含む）
- 定員１５名（３日間参加出来る人を優先させていただきます）
- 車椅子を利用している身体障害のある方の外出支援に入れます。（東京都の資格です）

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

毎年恒例になっている「柿のたね」主催のクリスマス会が今年もあります！
- 日時／12月7日（土）　13:30～16:00
- 場所／さくらプラザ１階レクリエーションホール
- 参加費／５００円　　軽食を用意する予定ですが、食事は済ませてきて下さいね

編集後記

今年の台風の強烈さは想像をはるかに超えていました。この間の台風のときは避難しようかと、ぎりぎりまで迷いましたが、犬を連れて近所の小学校に避難しました（途中多摩川を見に行こうとして家族に怒られました）。ペット連れは小学校の1階の一角のスペースを解放していただきましたが、風雨が強くなるにつれ避難してくる方が増え、一番強風が吹く頃には、高齢者や子供、障害者以外は入れない事態に、もう少し何とかならないものか。夜中、風雨が弱まったのを確認して家の様子を見に行こうと、学校の外に出たら、なんと小学校の周りがぐるりと冠水、結局出ることができず朝まで過ごすことになったのですが、翌日には廊下に出した教室の机を避難した人たち（といっても若者たち中心、みんな卒業生なのかなぁ、率先して手伝ってくれます。日本の未来は明るいかも）と片付けてから自宅に戻りました。我が家の状態はというと、家の前まで水が上がり、道路が泥だらけになっていたのでした（家は無事です）。　　島田